



SGS NewsLetter

第5号

発行日 2012年5月吉日

学部長あいさつ 「Study Abroadのすすめ」



学部長 松林 正一郎

今後のスケジュール

- 6月11日(月)
World Café
- 6月30日(土)
工場見学会
- 7月5日(木)・6日(金)
サークルパーティー
- 7月14日(土)
球技大会
- 7月27日(金)
春学期 授業終了
- 7月30日(月)～8月3日(金)
春学期 期末試験期間
- 8月4日(土)
夏季休業期間 開始
- 9月21日(金)
秋入学式、秋卒業式
- 9月24日(月)
秋学期授業開始

発行責任者:
学部長 松林 正一郎

多摩大学
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805
神奈川県藤沢市円行
802番地
Tel: 0466-82-4141

SGS NewsLetter 第5号をお届けします。

3月20日に春卒業の二期生129名の卒業式・学位記授与式を挙行し、卒業生一人ひとりに直接学位記を手渡しました。昨年卒業の一期生には震災の影響で略式の学位記授与式で済ませることになり、卒業生には申し訳ないことになりましたが、今年はしっかりと送り出すことができました。卒業生の活躍を期待しています。

SGSは6年目に入り、2名の新任教員を迎え、グローバル人材育成のためのカリキュラムを含めた教育プログラムの充実に一層の取り組みを進めています。東京大学などの秋入学への移行の取組みや、ユニクロ・楽天などの社内公用語英語化の推進、製造業に限らず小売業・飲食業までも海外展開とグローバル化は進み、グローバル人材のニーズは高まっています。

SGSはグローバル人材を育てる学部であり、グローバル人材に必要な要素としてあげられているコミュニケーション力(英語と日本語)の向上と、異文化理解と受容を重視しています。これらは国内にいて、座学だけで身に付くものではありません。実体験が大切です。そのために、Study Abroad Programが重要であると考え、その充実に特に力を入れてきました。昨年度は長期派遣の留学生8名、長期受入の交換留学生1名、短期派遣の留学生38名、短期受入の13名と参加者は増えております。今年度は更に多くの学生が往復することを期待しているところです。

SGSの学生の多くは、入学前の経験を含め、海外での旅行や留学、滞在の経験を持ち、殆どの学生がパスポートを所持しています。私がパスポートを始めて取得したのが就職して最初の海外出張時の25才であり、それから本格的な国際経験を積むこととなり、その後15年近く海外で暮らしたことを考えると、SGS生のチャンスははるかに大きいと思います。海外に出ることは、色々な意味でチャレンジであり、新しいことの発見であります。とりわけ、海外で日本と自分を再発見することになります。改めて、自分のこと(特にキャリア)と、日本のことを考えるきっかけとしても重要と考えます。

海外の提携大学との交換プログラムを強化していますが、提携大学とは相互交流が前提です。SGS生が多くStudy Abroadに参加することは、多くの海外からの長期短期の留学生を湘南キャンパスに迎えることになります。キャンパスでSGS生が外国人の学生の交流機会が増やすことは、海外に行かずともグローバルを体感することにつながり、海外を経験するモチベーションにもつながります。

Study Abroadに関係して、SGS後援会には、海外留学生全員のための旅行傷害保険への加入と国際携帯電話の貸与のサポートを頂いており、昨年2月のクライストチャーチ地震の折も、SGS生の早期安全確認と地震翌日の早期帰国手配などに役に立ちました。今後とも大学の教職員、後援会、同窓会をあげて、Study Abroadの充実に力を尽くしていきたいと思っています。



2011年度卒業式を挙行

グローバルスタディーズ学部2011年度の卒業式を3月20日（火）に挙行いたしました。昨年の第一期生は、残念ながら3・11東日本大震災の影響により卒業式が中止となり、略式の学位記授与式でしたが、今年度は松林学部長より、一人一人学位記を手渡すことができました。

特別賞授与では、在学中に特に優秀な成績を修めた学生に贈られる「成績優秀者賞」が寺島実郎学部長より、また課外活動や国際交流に積極的に取り組み、その成果が特に顕著で、本学の発展に功績があった学生に贈られる「学部長賞」が学部長より表彰されました。

学長告辞・学部長告辞では、卒業生一同、社会人としてさらなる高みを目指す気持ちを改めていただいたことと確信しています。

日高京子後援会会長よりご挨拶をいただき、後援会より記念品が代表者へ手渡されました。

式典は田村嘉浩常務理事挨拶、学生を代表して井上諒祐さんの英語による答辞、全員による学園歌斉唱で無事幕を閉じました。

◎成績優秀者賞

井上諒祐・石橋敦子・鷲田葵（以上3名）

◎学部長賞

勝俣祐子・玉城メリッサ・ユカリ・宮崎真・安田健太（以上4名）



★ 卒業生による謝恩会 ★



卒業式後、19:00より、会場をみなとみらいにある「パンパシフィック横浜ベイホテル東急」に移し、卒業生による謝恩会「Thank You Party」が100名以上の出席者の中、盛大に行われました。謝恩会も昨年は中止となってしまう、学生達は手探り状態からのスタートでした。学生会のメンバーを中心に6月からホテル関係者との打ち合わせや準備に奔走、舞台裏はたいへんだったと思いますが、企画内容やMCを務めた学生の好リードもあり、素晴らしい会であったと思います。一流シェフの手がけた料理もおいしく、学生も卒業式典の緊張から開放され、お世話になった教職員や4年間をともに過ごした仲間と、学生としての最後の余韻にいつまでも浸っていました。

3年生の後輩学生が受付スタッフとして数名参加、来年は「自分達の番」と、すでに企画話しをしていました。5月中に3つのホテルの下見を行い、会場を決定する予定です。

第六期生の新学園LIFEがSTART!

桜の満開が少し遅れた2012年春でしたが、SGSは4月2日（月）より始動、第六期生が気持ちも新たに、新しい学園生活をスタートしました。

4月5日（木）には、グローバルスタディーズ学部、経営情報学部合同の入学式が「パルテノン多摩」大ホールで行われました。SGS新入生を代表して堀案璃さんが、英語で力強く挨拶、大学生活への決意新たにしました。

式典終了後、「パルテノン多摩」小ホールに会場を移し保護者懇談会を開催しました。松林学部長による学部説明、教職員の紹介、後援会の日高会長より後援会の活動報告が行われました。

新入生オリエンテーションは2日（月）～7日（土）で行われました。緊張の面持ちの中、初日には「チームビルディング」を取り入れ、仲間作りを進めました。

先輩達の各団体（学生会・学園祭実行委員会・サークル）への勧誘が盛んで、パワーポイントを駆使したプレゼンテーションを舞台上で堂々とする先輩達に驚かされ、「大学生は凄い!」と感心ばかりしていたように見受けられました。グローバルスタディーズ学部では、いずれかの団体に所属して課外活動に積極的に参加することを奨励しています。

4日（水）には、先輩達による歓迎のバーベキュー大会（学生会主催）が中庭で行われました。天候にも恵まれ、教職員や先輩達とコンロを囲んで、コミュニケーションが図られました。



キャリア支援課

2012年3月卒の就職活動は、東日本大震災の影響で混乱、長期化しました。SGS二期生についても、1月以降も就職活動が続ける学生が昨年よりも増加しましたが、最終的に就職希望者90名中、84名の就職が決まり（93.3%）、4月から社会人として働き始めています。また、就職以外の進路を選択した卒業生は、大学院、大学、専門学校等への進学や留学や海外の大学院の受験準備をする等、グローバルスタディーズ学部の特徴を生かした進路を選択しています。なお、キャリア支援課では、就職希望者で在学中に就職が決まらなかった卒業生を中心に卒業後も継続してキャリア支援をおこなっています。

主な就職先	
旅行・観光・イベント	ANAエアサービス東京、エイチアイエス、スタジオアリス、サンケイホテル、スカイビルサービス（ANA）
商社	三井物産鋼材販売、東京コンポーネント、サンワテクノス、オート電機、ヨコハマコンチネンタルタイヤ、巴商会、エムオー産業
運輸・物流	郵便事業会社、日本通運、東邦運輸
食品	キャメル珈琲
外食	三光マーケティングフーズ、ココスジャパン、美濃吉、HUB、ヴァリック、リキッド
小売・流通	三越伊勢丹、横浜日野自動車、ネットヨタ湘南、ガリバーインターナショナル、ディックアップ、サンケンプリンティング、リベルタ、共同紙販、LIMIL ビバ、コストコホールセールジャパン、マリークワントコスメティックスジャパン、岡重
アパレル・衣料	ユニテッドアローズ、ファイブフックス、クロスカンパニー、フェザンレーヴ、ビーアンドエム
金融	東京海上日動火災保険、富国生命、ファイナンシャルエージェンシー
機械・プラント	ボッシュ、ミネベア、住友電装、丸山製作所、新興プランティック、ナガタベルリティア
その他製造	セッツカートン、ザ・バック、HORII、ココロカ、サンケンプリンティング
情報・通信・メディア	USEN、ディ・ポップス、マジックウェイ、リードオフネット、クエリー、エフコード、ディ・ポップス、ガッツエンターテインメント、エフティコミュニケーションズ、ピーシープロモーション、クエリー
サービス・コンサルタント	クイック、ヒューマンライフサービス、GABA、ハッスルジャパン、グロブリッジ、リラク、オリエンタルネイル、ボディワーク、広伸社、オンテックス、キープ、ポピンズ、アメニティ、
教育	みんなの外語学院（タイランド）
公務員	神奈川県警、相模原市役所、鎌倉市役所

国際交流課

夏休み短期留学（締切 5月18日）および交換留学プログラム（同 4月27日）は右記の通りです。

* 残念ながら今期の交換留学参加者はいませんでした。春休み、来夏には多くの申込があることを期待します。



昨夏、交換留学に旅立った7名の学生が現地での生活を終え、帰国し始めています。

★ 短期留学

- ・モナシュ大学（オーストラリア）
- ・ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）
- ・クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）
- ・NZツアー（ニュージーランド）
- ・ハワイ大学（米国）
- ・UCLA（米国）
- ・インディアナ大学（米国）
- ・ウィニペグ大学（カナダ）
- ・シェフィールド大学（英国）
- ・インドにおけるコミュニティサービス活動
- ・台湾におけるコミュニティサービス活動

★ 交換留学（1セメスター～1年）

- ・ブレーメン州立経済工科大学（ドイツ）
- ・レイクランド大学（米国）
- ・バルドスタ州立大学（米国）
- ・アルゴマ大学（カナダ）
- ・ウィニペグ大学（カナダ）
- ・ナンヤンポリテクニク（シンガポール）

多摩大学初の部 「フットサル部」が誕生

多摩大学では、2012年度より、「フットサル部」を設立することになりました。これは、多摩大学初の「部」の誕生となります。サークルとは異なる「部」ですので、多摩大学としての看板をしょって活動して行くことになり、多摩キャンパス（経営情報学部）の学生と一緒に汗を流します。監督には、元フットサル日本代表候補としてのキャリアを持つ福角有紘氏を迎え、全国レベルのチームに押し上げたいと考えています。顧問は、経営情報学部：杉田文章教授が務めます。スポーツで培った財産を社会に出て活用できる選手の育成を行います。

4月に両学部で説明会を開催、また多摩キャンパスで入部体験会があり、SGSからは2名の学生が参加しました。練習場所は多摩キャンパスが中心となり、湘南からの移動、学業との両立、遠征費用等、課題も多くある船出ではありますが皆様の熱き声援をお願いしたいと思います。



【監督プロフィール】

福角 有紘氏 Arihiro Fukuzumi 1978年(昭和53年) 2月10日(満34歳)

<指導者ライセンス>

日本サッカー協会公認C級ライセンス(2010年3月)
日本サッカー協会公認フットサルC級ライセンス(2011年3月)
ブラジルサンパウロ州フットサル連盟公認指導者ライセンス(2002年8月)

<選手歴・実績>

2005年～2006年(在籍2年間)
PREDATOR URAYASU FUTSAL CLUB所属(現在Fリーグ所属のバルドラール浦安)

2000年、2004年 FIFAフットサルワールドカップ日本代表候補
2002年 パルセロナ短期留学(3ヶ月間)
PUMA CUP 2006 全国優勝/インターコンチネンタルカップ世界クラブ
選手権5位/TOPPER CUP ブラジル大会優勝

<指導歴>

- ・Shunsuke Park(2008～2010年) (中村俊介選手が運営する)
- ・2011年社会人フットサル大阪府選抜コーチ兼監督 全国3位
- ・2012年U-23 大阪府選抜監督(2011～2012年) 全国大会出場
- ・大阪府女子フットサルリーグ ブログレッソ大阪監督(2011～2012年)
- ・DIEGO FUTSAL SCHOOL代表

(関西3箇所の幼稚園～小学6年生までのフットサルスクール教室)

オープンキャンパス

多摩大学のオープンキャンパスは、在学生によるプログラムや、実際の授業を体験できる模擬授業など盛りだくさんです。質問や不安なことは、個別相談でご対応します。保護者の方だけでもご参加いただけます。ご近所の方、後輩の高校生にご紹介いただきますようお願いいたします。

【オープンキャンパス開催日】

6/24(日) 13:00～16:00	7/22(日) 10:00～16:00	8/4(土) 10:00～16:00	8/5(日) 10:00～16:00	8/12(日) 10:00～16:00
9/9(日) 10:00～16:00	10/7(日) 13:00～16:00	11/11(日) 13:00～16:00	12/16(日) 13:00～16:00	2013. 3/24(日) 13:00～16:00

学園祭と同時開催!

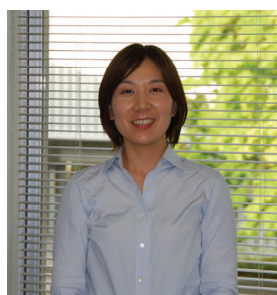
【ミニオープンキャンパス】

11/3(土)・11/4(日)
10:00～15:00

新任教員挨拶



堂下 恵 先生 Megumi Doshita



この4月に多摩大学グローバルスタディーズ学部へ赴任いたしました堂下恵です。現在、観光や日本研究に関する科目を担当しており、来期は文化人類学講座も担当する予定です。私の専門は文化人類学で、主に日本の環境観光について研究してまいりました。大学教員としては通算8年目になり、前任校では観光関連科目や英語の他、ゼミナール形式で計100人ほどの学生を指導してまいりました。大学教員として価値ある経験を積んだ上でSGSに赴任できたことは、私にとっても学生にとっても良かったのではと思っています。

SGSに勤務して1ヶ月ほどになりますが、礼儀正しくて心の温かい学生に恵まれ、充実した日々を送っております。新たな職場で戸惑うこともあります、教職員だけでなく学生に助けられることも多く、良いご縁に巡り合えたことに感謝しています。SGSの学生のように、成人前から日本国内において国際色豊かな環境を選び、4年間英語に触れながら大学教育を受けるのは簡単なことではないでしょう。イギリスでの大学院留学も含めて、私がこれまでに得た知識や経験をSGSの学生のために少しでも役立てられるよう最善を尽くしたいと思います。

新任教員挨拶



太田 哲 先生 Satoshi Ohta



こんにちは。4月より「現代世界における日本」、「消費社会の比較文化論」、「日本の仕事」の授業を担当しています。日本は貿易立国ですので以前から海外との繋がりが強かったのですが、昨今のグローバル化によりその重要度はますます強くなってきており、且つ複雑になってきています。いちばんの違いとしては、プレーヤーの数が増えたことでしょうか。いままでは、先進国が主なプレーヤーで、途上国は一次産品の供給元という役割が強かったのですが、現在は第二次産業の生産地としての重要度も増し、消費市場としても世界中から注目されています。また、シンガポール、香港、上海などにおける金融市場などでは世界中から優秀な人材が集まっています。先進国、途上国という区分け自体が難しくなっています。

このような複雑な世界の中を生き抜いて行く人材が必要とされており、グローバルスタディーズ学部はその名のとおりにグローバルな人材育成の格好な環境であります。

私は小学校に上がる前の3年半の間、アフリカのケメルンというところで過ごし、ユーゴスラビアで中学時代を過ごしました。また、大学院時代にはイギリスと台湾、最近までインドで過ごし、日本と海外を行ったり来たりしております。このような経験から、多くの社会や文化、人々と触れ合う機会を持つことが出来ました。

グローバルスタディーズ学部の学生達には、異なる文化、社会背景を持った人々と出来るだけ多く接することを期待します。それには自らが海外に出るのもいいですし、国内にいる異文化を背景とする人々と接するのも結構です。そこから多くのことを学ぶことでしょう。学生達が未知なものに対する興味を抱くよう手助けできればと思っています。

サークルクローズアップ

「Tea Ceremony Circle」

代 表 山下千絵 (3年)
顧問 小松加代子 (准教授)
会 員 数 10名 (2011年度)
活動日程 毎週火曜日 16:20～20:00
活動場所 多目的和室

活動内容
・茶道の先生の指導によるお点前の稽古
・学園祭にてお茶会を実施(着物を着て行なう)
・留学生や外国の先生のリクエストによる国際交流関連のお茶会の実施

活動実績

・江ノ島龍口寺での茶筌供養会とお茶会
・東洋英和女学院大学のお茶会

講師の指導は分かりやすく、すごく優しい方なので初心者の人でも出来るようになります。